

京都のモノづくり企業トップに聞く

持てる技術磨き 新成長へ



NKE社長
中村 道一氏

「評価される点は何でしょう。」

「かゆいところに手が届くようにお客さま仕様で、小回りがきいたベストなソリューション提供を心掛けています。」

好機捉え新需要取り込む

コンセプトに搬送など多くの自動機を提供してきた。従来のFA分野はもとより食品や医薬といった新しい分野でも着実に受注が増えている。箱詰めやパッケージング装

置で、洗浄しやすい、汚れがたまらないなど業界

「自動技術やユーザーオリエンティッドなもののづくりなど蓄積した経験や暗黙知を、データベ

いるが、これをチャンスにしっかりと新しい需要を取り込みたい」

「教育を充実させていた。気づきや意識改革の延長に変革がある」

「14年4月からの3カ年計画。次の成長に向けての基礎固めと位置づけている。教育、食品など新分野、タイと中国の海外拠点、京都工芸繊維大学など産学連携など実になる取り組みは多い」

「機械にできることは機械に、人間は人間にしかできない仕事を」を

特有のポイントを押さえ

「14年4月からの3カ年計画。次の成長に向けての基礎固めと位置づけている。教育、食品など新分野、タイと中国の海外拠点、京都工芸繊維大学など産学連携など実なる取り組みは多い」